

にぎわい ~九州発信~

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信



みなとの「にぎわい」を取り戻せ!

101号



佐賀県(伊万里港)

イマリンビーチ 海開き!!

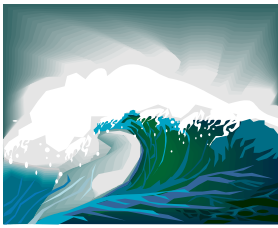
7月1日、伊万里市黒川町のイマリンビーチで海開きがあり、地元の園児ら約140人が勢いよく海に飛び込み、初泳ぎを楽しみました。

海開き式では、ビーチを管理する地元福田地区の住民や警察、海上保安署の関係者ら約50人が安全を祈願した。安全祈願後の海開き式典では、10月に県内で開催される全国豊かな海づくり大会のPR事業の一環として、園児らによるクルマエビの放流も行われました。



伊万里市商工観光課
TEL 0955-23-2110
E-mail: shoukougankou@city.imari.lg.jp





対馬市【美津島町】

2006対馬シーカヤックマラソン大会！！

2004年10月17日、対馬のカヤック愛好者を中心にシーカヤック草レース「対馬浅茅湾10マイルレース」が行われ、その発展形として、2005年9月18日に対馬で初となるシーカヤック全国大会「2005対馬シーカヤックマラソン大会」が開催されました。

2006年は11月4日～5日に大会を開催します。



昨年の対馬シーカヤックマラソン大会

長崎県対馬市厳原町今屋敷668(対馬観光物産協会内)
対馬シーカヤックマラソン大会実行委員会事務局
TEL 0920-52-1566 / FAX 0920-52-1585
E-mail: seakayak@tsushima-net.org

ドック

新造船！！



晴天に恵まれた10月4日(水)に佐賀県伊万里市にある株式会社名村造船所伊万里事業所において新造船17万7千トン型のばら積み運搬船の命名式が開催されました。

本船の船主は愛媛県今治市の喜多浦海運で、日本郵船が用船し、フランス電力向けの電力炭を輸送します。

命名式では、EDF(フランス電力)TRADING社のManaging DirectorであるMr.Rittenhouse氏が本船を「OCEAN CYGNUS」と命名し、同氏ご令室により鮮やかに支綱が切断されました。本船は同日の午後に豪州への処女航海へ旅立ちました。

OCEAN CYGNUS



太平洋海運向け大型タンカー「TOWADA(十和田)」が完成し、7月13日香焼工場からペルシャ湾に向け出航しました。中東からマラッカ海峡を經由し日本を結ぶ航路に投入されます。本船は、マラッカ海峡でも通行できる最大船型船で、約30万トンの原油を一度に輸送できます。

「TOWADA(十和田)」は三菱重工業長崎造船所の同型シリーズ船で6隻目。全長333^{メートル}、幅60^{メートル}、深さ29.1^{メートル}、載貨重量^{トン}約30万^{トン}。

TOWADA(十和田)



特集

海岸漂着物

流木漂着

7月17日頃から、長崎・五島沿岸域に原因不明(東南アジアから?)の流木が大量に漂流しており、海上交通への影響が懸念され、海上保安部は状況把握と回収作業を行ってきました。

その後、保安部より当局へ回収作業の協力依頼があったことから、『がんにゅう』は平戸島周辺の流木回収作業にあたるため、20日早朝、北九州港太刀浦を出航しました。



回収状況

海洋に浮遊するゴミなどが航行船舶の障害にならないように回収作業を行います。また、『がんにゅう』は流出した油の回収も行うことができる兼用船です。

NPOの活動紹介

はかた夢松原の会

福岡市の博多湾沿いを中心に松の植林活動などに取り組んでいるNPO邦人「はかた夢松原の会」は、1987年3月に結成。博多湾に面し、人工海浜公園として埋め立てられた百道浜の海岸に、かつての松林を復活させようと所樹活動を始めました。

松の苗木購入の募金を呼び掛け、協力して蔵田人には領収書代わりに「緑の株券」を発行、その配当もまつぼっくりとするというユニークな取組は注目を集め、会の活動範囲も博多湾の外に拡大している。



編集・問い合わせ先 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局
九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 TEL 092 418 3358
担当:黒木、木下 FAX 092 418 3037
電話番号が変わりました。